

第17回「福祉・環境のまち部会」 会議録

1 開催日 平成29年10月24日（火）9：30～

2 場所 新見市役所3階 第5委員会室

3 出席状況 出席7名

部会長	上前 文昭	出席	副部会長	西田 勝江	欠席
委員	大月 礼子	出席	委員	早瀬 正弘	出席
委員	宮地 恵子	出席	委員	栗本 真吾	出席
委員	鈴江 恵子	出席	委員	前田 道子	出席

4 事務局出席者

総務部協働推進課 1名

5 傍聴者

なし

6 議事内容

1 開会

2 あいさつ

部会長挨拶

3 協議

-
- ・提言には、災害を未然に防ぐといった観点の内容も盛り込んでどうか。全体会の時にも意見が出たが、流木の対策についても、協議に加えてほしいという話もあった。
 - ・流木のことや間伐の推進なども防災対策の一環として取り組むということも必要ではないだろうか。
その他では、避難経路のわかりやすい表示をするといったことも大切なのでは。
 - ・防災マップに載ってはいるが、地区ごとに状況は違うと思うので、地元でどこが危ないかなど、生活している人が現地を見て、マップを作るということが必要ではないだろうか。
 - ・市がすでに危険箇所として把握しているものの、予算不足などで対応ができていないといった場所もはっきりとさせておく必要があるのではないだろうか。

- ・いかにして情報伝達を行うかということがポイントだと思う。
- ・行政で対策ができていないところでも、市民の力を借りて対応するといった方法も必要ではないか。例えば、防災センターのようところが中心となっても良いので、そういったことを呼びかける手段を考えるということも大切であると思う。
- ・提言書の中に組織表を入れて、自主防災組織の『未組織』地区名を掲載し、組織化を推進するといった絵が必要ではないだろうか。
また、提言にも、年1回防災訓練をすとか、具体的な内容を記載する必要があるのではないか。
いずれにしても、市からも自主防災組織の組織化へ向けた働きかけがやはり必要。
- ・新見ではやはり災害に対する危機感は乏しいように感じる。
- ・自主防災組織ができていないところ、市や防災センター（仮）との連携ができていないところ、また、未組織のところについては、最低限、こういうところまではやりましょうといったことを明記し、推進していくことが必要だと思う。
また、危険箇所への対応について、自主防災組織から防災センター（仮）などに対応や支援などを依頼することができるといった体制づくりなどに取り組む必要があるのではないかと思う。
組織された自主防災組織（防災センター（仮）でも良いが）から市への連絡体制を作る、行動マニュアル的なものを作るといったことが必要なのでは。
- ・提言書については、組織表に具体的な自主防災組織の名称も記載してはどうか。
- ・私の地区でも福祉委員会などで取り組みを行っているが、やはり小さな地区（町内）のみんなに知ってもらう方法が必要かなと思う。
- ・組織表をもとに、行政とのつながりや自分たちでできることをやるという方向の提言ができれば良いと思う。
- ・自主防災組織の連携や具体的な取り組みを明示してはという意見があったので、その方向で提言できればと思う。
加えて、減災のことなどにも触れていければと思う。
- ・これまでに様々な意見をみなさんからいただいたので、これらをベースにして、提言書の素案づくりをこの部会とは別に委員2名ほどに参加してもらいながら作っていきたい。